

情報工学科			国語				
学年	第1学年	担当教員名	加藤 岳人				
単位数・期間		3単位	通年	週当りの開講回数	2回	必修	履修単位
授業の目標と概要		古今の言語文化に触れ、それを読み解くことを通して、論理的な思考と記述技法習得の基礎固めを目指す。 言葉のきまりにしたがって言語表現を正確に音読するとともに、現代日本語を正しく表記する作法を身につける。					
		釧路高専目標	F:100%		JABEE目標		
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		授業中も国語辞典(電子辞書を含む)を活用して語彙を増やし、正確な聴き取りを心掛けるとともに、言語表現を公平な目で読み解き、考えたことをわかりやすい言葉で説明できるよう、読解力や表現力にも自ら磨きをかけてほしい。					
到達目標		・聴き取りやすい音読ができ、文脈に沿って言語表現を正しく解釈できる。 ・物事を客観的に捉え、根拠を示しつつそれを効果的に表現できる。 ・現代日本語を正確かつ丁寧に表記することができる。					
成績評価方法		定期試験の成績(90%)と「読書レポート」・「表記課題」等、提出物の内容(10%)により評価する。合否判定もこれに同じ。					
テキスト・参考書		テキスト:『新編国語総合』(東京書籍) 参考書:『新版 カラー版新国語便覧』(第一学習社) 『伝える力』(池上 彰 著 PHPビジネス新書)					
メッセージ		聴く・話す・書くという言葉を用いた表現活動は、他人への気づかいを欠くとき、独りよがりな振る舞いとなってしまいます。 積極的に授業に参加しながら、多様な他者とのコミュニケーション能力を高めましょう。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
1. ガイダンス(2回) 2. 随想「隣の校庭」(3回) 3. 古文の基礎「児のそら寝」(4回) 4. 漢文の基礎「訓点・格言」(5回) 5. 表記トレーニング(7回)				1. 授業の目的、作業内容が理解できる。 2. キーワードの概念を理解することができる。 キーワードを関係づけることができる。 3. 仮名遣いの違いがわかる。助詞、助動詞の違いがわかる。音読ができる。 4. 返り点のルールが理解できる。基本的な送りがなの表記法がわかる。 書き下し文の概念がわかる。 5. 正しく正確な縦書き表記ができる。			
前期中間試験				実施する			
6. 試験反省(1回) 7. 小説「とんかつ」(6回) 8. 随想「りんごのほっぺ」(4回) 9. 古文「徒然草」(5回) 10. 表記トレーニング(7回)				6. 個別の学習課題を発見することができる。 7. 登場人物の心情を類推できる。作品の主題を読みとることができる。 基本的な語句の意味がわかる。 8. 筆者の思いを想像することができる。 戦争について考え、意見を述べることができる。 9. 係り結びがわかる。基本的な古語の意味がわかる。正しく音読できる。 10. 正しく正確な縦書き表記ができる。			
前期期末試験				実施する			
11. 試験反省(1回) 12. 漢文「故事」(3回) 13. 評論「おカネでは買えぬもの」(3回) 14. 小説「羅生門」(8回) 15. 表記トレーニング(7回)				11. 個別の学習課題を発見することができる。 12. 置き字が区別できる。基本的な句法がわかる。 書き下し文を書くことができる。 13. 語句の意味がわかる。論理展開を理解することができる。 14. 作品中の語句の意味がわかる。登場人物の論理を理解することができる。 15. 正しく正確な縦書き表記ができる。			
後期中間試験				実施する			
16. 試験反省(1回) 17. 評論「カリヴァーとアリス」(5回) 18. 漢文「王昭君」(4回) 19. 古文「方丈記」(5回) 20. 表記トレーニング(7回)				16. 個別の学習課題を発見することができる。 17. 語句の意味がわかる。論理展開を理解することができる。 18. リズムよく音読できる。基本的な語句の意味がわかる。 語句を補って解釈できる。 19. リズムよく音読できる。基本的な語句の意味がわかる。 無常観について説明できる。 20. 正しく正確な縦書き表記ができる。			
後期期末試験				実施する			